

# つくい 月ぬまびろーま節 (二揚げ)

つくい まぶいるーま すー まぶえ  
1. 月ぬ真昼間や やんさ潮ぬ真干り

ゆる まゆなか  
夜ぬ真夜中やハイヘー

みやらび すーとうくい  
美童ぬ潮時 ハイヘー

つくい ぐわん た ふす やはん まい  
2. 月に願 立ていてい星に夜半参り

うむ ば  
思いすとう我んとうハイヘー

いか た  
行逢しゆ給ぼりハイヘー

うむ ば いか  
3. 思いすとう我んとう 行逢さんどうあらば

ば ぬつ  
あたら我が命ハイヘー

とう  
取らばちゃすいがハイヘー

月が真上に来るときは  
ヤンサ潮の一番干潮の時。  
その日の真夜中は  
娘が恋人のもとに忍んでいく時分だ。

月に願をかけて星夜に夜半参りをする。  
恋しい人と私をどうか逢わせて下さいと。

恋しい人と私とを逢わせないのならば  
私は命を捨ててしまいますよ。

## < 解説 >

「とっばらーま」を続けて歌うことが多い。

「夜半参り」とは、男は女装を、女は男装をして、好きな人に逢うために神に祈る儀式。

< 八重山 >

七 八 八七 四 五 中 工 五 工 上 工 四

つくいぬ まくわ ああぶいりる おお まて あ あ や  
 つくいぬ ぐわ ああん んんた ああ てい いん あや  
 うむうい つうとつうば ああ んん いてい  
 ついぬ づいぬ

四 七 四 四 工 工 四 中 五 中 工 五

やふい あうい んんすか んんうあ んんうあ んんうあ さにさ あいあ すやん うあん ぬほどう うま あん あん あん

工 上 工 四 四 七 四 四 中 五 工 五 七 八

ふええい えり ゆうう るうう うう ぬう  
 まい いり あば あ あ あ あ あ あ あ あ  
 ら あ あ ば

五 七 八 八 七 八 五 工 工 五 四

ううま あゆ ううな あか ああや ああはいいへ えええ  
 いいすう とつううば あん あん んんとうう  
 ああばあ が ああぬ うついでい い

四 上 四 乙 四 工 工 七 五 中 工 上

みや あ ああら あび い いぬ すい い い い い い い とつ ううううぐい いはいい  
 い い い か あし い いゆ た あ あああああば おおおおり い  
 とつ う ううら ああ あ ああば ちゃ あ あああああすい いはいいが あ

四

1. 月ぬ真昼間や やんさ潮ぬ真干り 夜ぬ真夜中やハイへー 美童ぬ潮時 ハイへー
2. 月に願立ていてい 星に夜半参り 思いすつ我んとうハイへー 行違しゆ給ぼりハイへー
3. 思いすつ我んとう 行違さんどうあらば あたら我が命ハイへー 取らばちやずいがハイへー